

所沢の歴史見聞録

5月14日(土)~6月29日(水)

最終日午後2時閉会

歴史にまつわる今昔よもやま話を資料と写真で紹介します。

所沢に象と虎の見世物が来た(江戸時代)

街中の商店街は桜並木でお花見が出来た。(明治時代)

街中に子育て地蔵の大仏様があつた。(江戸末~大正時代)

市内に二つの牧場があつた。(大正時代)

二つの飛行場駅があつた。(昭和時代)

小説の中の所沢、幻の大学誘致

所沢の地名の由来。他



プロペ通り入り口にあつた子育て地蔵の大仏



明治時代の銀座商店街:桜並木で花見ができました。

所沢の地名の由来

野老(ところ) (ヤマモモの多年生つる植物)
所沢の地名の起原の一つとして、平安時代の初め「伊勢物語」の主人公と言われる在原業平(ありわら・なりひら)「東下り」の折、この地を訪れ在原業平が野老(ところ)が多く生えているのを見て、「この地は野老(ところ)の沢か?」と尋った事に由来するとされています。



市章

所沢市の市章はヤマモモ科の「野老(ところ)」の葉を円形化しています。

所沢市中心市街地活性化拠点施設

野老澤町造商店

〒359-1121

所沢市元町21-18 10時~18時

電話/FAX 04-2928-1453 (木定休)

駐車場は市営元町地下駐車場のご利用をお勧めします。
最初30分無料以降30分毎に60円です(2020/4/1~)

